

日本ラート協会 会員各位

ラート競技採点規則 2023 について

2023 年 4 月 1 日

日本ラート協会

会長 大塚隆

技術部会長 古屋欽司

会員各位

コロナも影響を受けつつも、徐々に以前の様な活動に戻りつつある中と存じます。

新しい国際規則も先日発表されましたが、国内規則についても少しずつ見直しを行っております。以前より難度上限の引き上げや繰り返しの定義の修正を進めていることをご報告しておりましたが、この度、ラート競技採点規則 2023 の改訂作業を終えたことをご報告いたします。本規則は、2023 年全日本ラート競技選手権大会から適用されます。本改訂によって、より演技の幅が広がることを期待しておりますが、会員の皆様におかれましては、規則の変更点をよく確認いただき、高難度の運動については安全に配慮して取り組み、十分に習熟した演技構成で競技に臨まれるようお願いいたします。

<ラート競技採点規則 2023 の主な変更点>

1. 直転の難度採点上限の改訂：

直転の難度算定の上限を撤廃し、最大 8 難度を算定することとした。B、C、D 難度の下り技に対する加点 0.2 点については変更はなく、難度の算定の上限は 6.6 点となる。

2. 斜転の難度採点上限の改訂：

斜点の難度算定の上限を撤廃し、最大 8 難度+A 難度（着地技）1 運動を算定することとした。したがって、難度の算定の上限は、6.6 点となる。

3. 運動の繰り返しの判断基準の改訂：

運動の繰り返しの判断の基準を、国際規則に準じて大きく変更した。

4. 運動の再開に関する規定の改訂：

大斜転・小斜転において、補助者が補助を行って運動を再開することを認めることとし、補助にかかる規則と採点の方法について国際規則に準じて追加した。

5. 垂直斜点の追加：

国際規則では既に導入されている垂直斜転について、定義、移行に関する規則、減点に関する規則を追加した。

※採点規則 2023 において、採点規則 2020 からの変更点は、下線で示しています。

以上